

## 病害虫発生予察 8 月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

8月の気象表(長野地方気象台)

官 署		平均気温 ℃			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	28.4	28.4	23.3	13.0	30.5	52.5	98.2	70.3	45.6
	平年	25.8	25.5	24.6	29.9	30.8	37.2	71.0	64.9	67.9
松 本	本年	27.8	26.9	23.6	29.0	35.5	56.5	92.7	61.9	47.7
	平年	25.2	25.0	24.2	29.6	28.6	33.9	71.5	63.8	70.1
諏 訪	本年	26.7	25.7	22.7	37.5	134.0	53.5	86.7	64.8	47.9
	平年	24.3	24.0	23.3	41.5	43.6	44.2	69.2	62.6	68.2
軽井沢	本年	23.5	22.6	19.9	26.0	55.5	51.0	81.9	37.8	42.8
	平年	21.0	20.6	20.0	47.6	57.3	54.3	56.8	50.8	57.7
飯 田	本年	28.1	26.9	24.0	29.5	46.0	100.0	88.0	61.6	47.8
	平年	25.4	25.3	24.5	43.2	42.8	52.8	68.2	63.6	68.3

天気は、前半は高気圧に覆われて晴れた日が多くあったが、午後は大気の状態が不安定となり局地的に雨や雷雨となったところがあった。後半は台風や前線などの影響により曇りや雨の日が多くなり、大雨となったところもあった。

また、8月6日は長野市、松本市、安曇野市で、8月7日は上田市で突風が発生した。

### 1 水 稲

#### (1) 生育概況

第1表 イネの生育状況(須坂市:農業試験場作物部)

品種名	区分	移植後30日			移植後40日			幼穂形成期	出穂期
		主稈葉数	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈葉数	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>		
あきたこまち	平年	8.6	36	448	9.9	52	608	7/ 6	7/27
	前年	7.5	29	288	9.1	39	591	7/ 6	7/26
	本年	7.5	27	316	9.3	39	586	7/ 8	7/30
コシヒカリ	平年	8.3	37	465	9.8	51	679	7/12	8/ 4
	前年	7.9	35	372	9.4	46	622	7/13	8/ 3
	本年	7.5	29	301	9.4	43	612	7/16	8/ 7

\*移植期:2019年5月20日

\*平年:過去7年のうち収量の最多、最少を除く7中5年の平均値

第2表 イネの生育状況(原村:農業試験場原村試験地)

品種名	区分	移植後40日			移植後50日			幼穂形成期	出穂期
		主稈葉数	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈葉数	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>		
ゆめしなの	平年	9.0	54	540	10.1	70	578	7/ 9	8/ 4
	前年	8.8	57	521	10.0	74	582	7/11	8/ 2
	本年	9.0	50	253	9.6	59	403	7/15	8/ 7

\*移植期:2019年5月24日

\*平年:過去7年のうち収量の最多、最少を除く7中5年の平均値

#### (2) 病害虫の発生状況

##### 1) いもち病

8月上旬の巡回調査では、主に山間部で葉いもちの発病が認められたが、平年に比べて少なく、上位葉(止葉及び次葉)の発病も少なかった。

第3表 8月上旬の葉いもち発生状況

地方	発病地点率(%)		平均発病株率(%)		平均上位葉発病株率(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
東信	6.7	50.1	0.3	15.7	0.3	15.7
南信	0.0	34.3	0.0	9.7	0.0	9.7
中信	0.0	41.2	0.0	10.0	0.0	10.0
北信	17.6	33.8	1.5	8.5	1.5	8.5
県	5.7	39.4	0.4	10.8	0.0	10.8

注)発病地点率は巡回調査地点の中で、発生が確認された地点の割合を地方ごとに示したもの。平均発病株率は巡回調査地点の発病株率を地方ごとに平均したもの。平均上位葉発病株率は巡回調査地点の上位葉(止葉・次葉)の発病株率を地方ごとに平均したもの。平年は過去10年の平均値。

##### 2) 紋 枯 病

8月の巡回調査では、全般に平年に比べて発生は少なかったが、一部の発生ほ場では、上位葉まで病斑が進展している株が認められた。

第4表 紋枯病の平均発病株率(%)

地方	8月上旬		8月下旬	
	本年	平年	本年	平年
東信	0.3	9.7	0.3	37.3
南信	0.7	5.2	3.8	16.8
中信	1.5	5.4	6.0	17.2
北信	0.0	3.1	0.0	20.1
県	0.7	5.8	2.7	22.0

注)平均発病株率は巡回調査地点の発病株率を地方ごとに平均したもの。平年は過去10年の平均値。

### 3) 白葉枯病

8月の巡回調査では発生は認められなかった。

### 4) 縞葉枯病

昨年、一部の地域で発生が確認され、同地域において本年も発生が認められた。発病株率の高いほ場も見られた。また、別の地域においても発生が確認された。

### 5) ヒメトビウンカ

8月のすくい取り調査(本田ネット20回振)では、調査ほ場全てで捕獲され、発生が多いほ場も見られた。特に、中南信地域では平年に比べて多かった。

第5表 ヒメトビウンカ成虫(短翅も含む)の平均捕獲数(水田内20回振 単位:頭)

地方	調査地点数	8月上旬		8月下旬	
		本年	平年	本年	平年
東信	15	2.73	10.57	35.53	38.50
南信	18	5.06	4.85	16.50	9.95
中信	21	39.90	7.16	43.45	15.86
北信	17	2.29	19.05	22.88	41.54
県	71	13.84	9.67	29.83	26.77

注) 平均捕獲数は巡回調査地点の捕獲数を地方ごとに平均したものである。平年は過去10年の平均値

### 6) ツマグロヨコバイ

8月のすくい取り調査(本田ネット20回振)では、全般に捕獲頭数が多く、一部のほ場ではすす病の発生が見られた。

### 7) セジロウンカ

8月のすくい取り調査(本田ネット20回振)では、成虫の捕獲頭数は全般に平年に比べて少なかった。

第6表 8月下旬のセジロウンカの平均捕獲数(水田内20回振 単位:頭)

地方	調査地点数	成虫(短翅含む)		幼虫	
		本年	平年	本年	平年
東信	15	2.87	5.76	9.80	2.32
南信	18	0.83	9.68	0.00	10.35
中信	21	3.10	7.99	0.05	11.99
北信	17	1.35	7.39	5.59	10.89
県	71	2.04	7.88	3.47	9.41

注) 平均捕獲数は巡回調査地点の捕獲数を地方ごとに平均したものである。平年は過去10年の平均値。

### 7) トビイロウンカ

8月の予察灯及びすくい取り調査(本田ネット20回振)で、発生は確認されなかった。

### 8) イナゴ

8月のすくい取り調査(本田ネット20回振)では、発生地点はほぼ平年並みであったが、捕獲頭数は一部の地域で多かった。

### 9) 斑点米カメムシ類

8月のすくい取り調査(本田ネット20回振)では、全般に、平年に比べてやや多い捕獲頭数であった。

第7表 斑点米カメムシ類平均捕獲数(水田内20回振 単位:頭)

地方	8月上旬		8月下旬	
	本年	平年	本年	平年
東信	0.07	0.13	0.20	0.06
南信	1.80	0.75	2.55	7.62
中信	2.95	2.33	3.60	1.25
北信	0.41	0.15	0.94	0.07
県	1.45	0.93	1.97	2.44

注) 発生種: トゲシラホシカメムシ類、ホソハリカメムシ、アカヒメヘリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ

注) 平均捕獲数で巡回調査地点の地方ごとに平均したものである。平年は過去10年の平均値。

### 10) フタオビコヤガ(イネアオムシ)

8月上旬及び下旬の25株払落し調査では、全般に捕獲頭数は少なかった。

## 2 りんご

### (1) 生育概況

第1表 りんごの果実肥大状況(須坂市:果樹試験場) (単位:mm)

調査日	つがる								ふじ							
	縦径				横径				縦径				横径			
	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年
8/1	71.0	67.8	105	70.9	81.0	78.9	103	82.6	63.4	60.3	105	64.2	72.4	71.0	102	77.0
8/15	75.4	72.8	104	73.7	84.9	84.4	101	86.2	67.4	65.0	104	67.2	77.4	76.6	101	80.7
9/1	81.6	78.1	105	-	92.1	90.3	102	-	72.8	69.8	104	70.4	82.6	81.9	101	84.6

注) 平年は2004年~2018年の平均値。つがるは2004年より調査樹をM.26台木樹に変更。2010年より9年生マルバ台木樹に変更した。ふじは2015年より調査樹3樹のうち1樹を変更。よって平年及び前年比は参考値である。

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) 黒星病

北信地区を中心に、新梢先端の葉に発生がみられた。全般には平年並みの発生であった。

#### 2) 斑点落葉病

巡回調査では、発生はみられず平年並みであった。

3) 褐斑病

巡回調査では、一部のほ場で防除の死角を中心に発生はみられたが、平年並みの発生であった。

4) 輪紋病

巡回調査では、一部で発生はみられており平年並みの発生であった。

5) 炭疽病

巡回調査では、一部で発生はみられており平年並みの発生であった。

6) すず点病・すず斑病

巡回調査では、一部で発生はみられており、平年並みの発生であった。

7) ハダニ類

上～中旬の高温少雨の影響により発生は多くなったが、下旬には殺ダニ剤の防除や天敵(カブリダニ)などにより園地による差はあるものの発生が抑えられた園もあった。

8) リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、ほとんど被害新梢等はみられず、平年並みの発生であった。

9) シンクイムシ類

シンクイムシ類の被害が一部でみられたが、平年並みの発生であった。

10) キンモンホソガ

フェロモントラップ調査の誘殺数が平年と比べ多い地点があり、また、葉への寄生も散見されることから平年並みからやや多い発生であった。

2) 病害虫の発生状況

1) 黒斑病

巡回調査において、一部で果実への発病がみられたが、被害の拡大とはならなかった。巡回調査ほ場以外では発生時期が前年に比べ遅かった。

第2表 果実の発病 (南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布樹)

	7月			8月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	35.1	68.3	79.4	88.9	92.4	97.3
前年	36.4	95.1	-	-	-	-
本年	11.3	38.0	92.7	94.4	95.7	-

平年は過去10年の平均値

2) 黒星病

巡回調査では、幸水の一部ほ場で葉や葉柄に発生がみられ、果実感染もみられており、平年並みからやや多い発生であった。

第3表 果実の発病 (南信農業試験場「幸水」殺菌剤無散布樹)

	7月			8月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	68.4	76.4	85.1	92.6	95.0	98.7
前年	98.9	-	-	-	-	-
本年	64.3	81.7	95.6	-	-	-

平年は過去10年の平均値

3) うどんこ病

巡回調査では、ほぼ発生はみられなかった。

4) 輪紋病

巡回調査では、果実被害はみられなかった。

5) 枝幹性病害 (胴枯病・枝枯病)

巡回調査では、発病はみられなかった。

6) リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では寄生はみられなかったが、フェロモントラップ誘殺数は平年並みに推移している。

第4表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長 (高森町:南信農業試験場)

月・半月	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
平年	0.3	0.6	0.6	0.3	0.2	0.7
前年	1	0	0	0.5	1	2
本年	0	1	0	0	0	0

平年は過去10年平均値

3 なし

(1) 生育概況

第1表 なしの果実肥大状況 (高森町:南信農業試験場) (単位・mm)

品 種	区分	7月15日		8月1日		8月15日		9月1日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	47.1	43.0	62.2	55.2	74.7	65.7	86.7	76.3
	前年	56.1	50.2	68.9	60.5	80.1	70.0	89.8	78.6
	本年	46.1	41.6	59.0	51.6	69.6	60.0	-	-
幸 水	平年	51.1	41.8	69.6	56.4	83.6	67.5	93.1	74.3
	前年	60.1	48.9	78.0	63.5	89.8	73.0	-	-
	本年	56.0	46.1	74.2	60.5	87.1	70.9	-	-
豊 水	平年	49.1	44.6	65.2	57.6	79.1	69.7	92.8	80.5
	前年	59.1	51.8	74.8	65.6	87.0	76.2	99.1	86.0
	本年	48.1	42.3	62.8	55.2	76.3	66.0	-	-

平年値は1990～2010年のデータによる (幸水は長果枝と短果枝の平均)

#### 7) ナシヒメシクイ

巡回調査では、果実への寄生はみられなかったが、フェロモントラップへの誘殺はやや遅く、誘殺数は少なかった。

第5表 ナシヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長(高森町：南信農業試験場)

月・半旬	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
平年	3.9	4.4	3.7	5.5	9.7	13.7
前年	8.5	9	13	5	3.5	2
本年	2.5	5.5	0.5	1	0	4

平年は過去10年平均値

#### 8) モモシクイガ

巡回調査ほでの寄生はみられなかったが、フェロモントラップの誘殺数は平年並みからやや少なく推移している。

第6表 モモシクイガのフェロモントラップ誘殺消長(高森町：南信農業試験場)

月・半旬	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
平年	0.5	0.5	0.4	0.6	0.4	0.5
前年	0	0	0	0.5	0	0.5
本年	0	2	0	0	0	0

平年は過去10年平均値

#### 9) ハダニ類

巡回調査では、前年より発生は遅く、寄生は8月下旬までみられた。

#### 10) カメムシ類

巡回調査では、果樹カメムシ類の被害果はみられなかった。

第7表 カメムシ類の誘殺状況(南信農業試験場)

調査場所	種類	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6	
高森町	平年	0.3	0	0.1	0.1	0	0.9	
	クサギ	前年	1	0	1	0	0	
	本年	0	0	0	0	1	1	
	平年	22.4	12.4	11.4	15.7	4.6	3.4	
	チャハネ	前年	25	20	18	2	5	4
	本年	1	3	0	1	2	1	

平年は過去10年平均値

## 4 もも

### (1) 生育概況

第1表 ももの生育状況(須坂市：果樹試験場)

品種	月日	縦径(mm)			横径(mm)			側径(mm)			指数		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
あかつき	8/3	78.6	-	74.4	81.3	-	73.8	85.3	-	78.2	65.7	-	56.7
	8/3	65.2	68.4	63.3	67.2	70.0	66.0	67.3	70.5	65.9	44.1	48.2	42.1
川中島白桃	8/10	70.3	71.4	68.0	72.8	74.2	71.8	74.2	75.4	72.8	52.1	53.5	49.5
	8/17	74.5	75.2	72.3	78.0	79.3	76.9	80.1	81.9	79.1	59.3	60.8	56.7
	8/24	78.5	-	75.5	84.5	-	80.8	87.1	-	84.0	67.7	-	62.4
	8/31	-	-	76.5	-	-	82.2	-	-	86.4	-	-	65.5

平年値：あかつき(2011年～2018年の平均)、川中島白桃(1985年～2018年の平均)

指数=縦径×(横径+側径)÷2÷100

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) せん孔細菌病

巡回調査では、全県的に葉及び果実の発病が多くみられた。

#### 2) 灰星病

巡回調査では、一部ほ場で果実の発病がみられ平年並みからやや多い発生であった。

#### 3) 黒星病

巡回調査では、ほとんど発生はみられなかったことから平年並みの発生であった。

#### 4) モモハモグリガ

巡回調査では、ほとんど寄生葉はみられず平年並みの発生であった。

#### 5) ハダニ類

園地によってはハダニ類の寄生により葉が白化しているものもみられた。

#### 6) シクイムシ類

巡回調査では、一部で被害果実はみられたが平年並みの発生であった。

#### 7) ハマキムシ類

巡回調査では、被害新梢や被害果実はみられず平年並みの発生であった。

## 5 **ぶどう**

### (1) 生育概況

第1表 ぶどうの果実肥大状況（須坂市：果樹試験場）

品種	月日	縦径(mm)					横径(mm)				
		本年	前年	前年比	平年	平年比	本年	前年	前年比	平年	平年比
巨峰	8/5	29.3	27.5	106.6	26.9	109.0	27.9	25.5	109.3	25.3	110.1
	8/12	30.1	28.2	106.5	27.9	107.8	28.3	25.9	109.2	26.1	108.2
	8/19	30.8	28.5	108.2	28.6	107.7	28.4	26.0	109.2	26.5	107.1
	8/26	30.9	28.2	109.6	29.0	106.7	28.6	25.7	111.2	26.8	106.9
	9/2	31.0	28.4	109.2	29.2	106.3	28.7	26.0	110.3	26.9	106.8
	9/9		29.0		29.3			26.2		26.9	

平年値は、2006年～2018年の平均値。

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) 晩腐病

一部園地では発病果房がみられており、全般的にはやや多い発生であった。

#### 2) 灰色かび病

裂果に起因する発病果房がみられており、やや多い発生であった。

#### 3) ベと病

8月下旬以降、多くのほ場で発生がみられ、全般的にはやや多い発生であった。

#### 4) さび病

巡回調査では、ほとんど発生がみられず平年並みの発生であった。

#### 5) チャノキイロアザミウマ

巡回調査では、一部の園で発生がみられたが、全般的には平年並みの発生であった。

## 6 **野菜・花き**

### (1) 生育概況

上旬は晴天の日が多く、平年に比べ、全般に気温は高めとなり、降水量は少なくなったが、中旬以降は台風や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、平年に比べ、全般に気温は低めとなり、降水量は多くなった。

このため、一部の品目で病害の発生や生育の遅延がみられた。

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) トマトの病害

中南信地域の露地（ジュース用）栽培の一部ほ場で輪紋病の発生が目立つところがあった。

#### 2) きゅうりの病害

巡回調査では、中南信及び北信地域の施設（抑制）栽培の一部ほ場でうどんこ病の発生が目立つところがあった。

#### 3) アブラナ科野菜の病害

巡回調査では、東信及び中南信地域のキャベツ及びはくさいの一部ほ場で、軟腐病及び黒斑細菌病の発生がみられた。東信及び南信地域の一部ブロッコリーほ場で、黒すす病及び花蕾腐敗病の発生がみられた。

#### 4) レタスの病害

巡回調査では、東信地域の一部ほ場で、軟腐病や腐敗病の発生がみられた。東信及び中信地域の一部の調査ほ場で斑点細菌病が、また中信地域の一部の調査ほ場ですそ枯病の発生がみられた。

#### 5) セルリーの病害

巡回調査では、南信地域の一部ほ場で、萎黄病及び斑点病の発生がみられた。

#### 6) アスパラガスの病害

巡回調査では南信及び北信地域の調査ほ場で茎枯病、斑点病の発生がみられた。

#### 7) コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、東信及び中信地域のキャベツ、東信及び南信地域のブロッコリーの調査ほ場でみられたが、東信地域の一部のキャベツほ場で被害が多いところがあった。

フェロモントラップへの誘殺数は、小諸市（野菜花き試験場佐久支場）の県発生予察ほ及び原村と朝日村の地区発生予察ほでは、平年より高い誘殺数で推移したが、野菜花き試験場（塩尻市宗賀）では平年に比べ8月を通して少なかった。（第1表）。

第1表 各地のフェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長

月・半月	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
塩尻市宗賀（野花試）	4	4	2	8	1	0
小諸市山浦（〃佐久支場）	12	8	14	31	6	8
上田市菅平高原	4	4	3	5	8	3
諏訪郡原村	48	31	20	54	23	23
東筑摩郡朝日村	26	137	123	46	76	131
長野市上ヶ屋	12	7	5	8	3	2

#### 8) オオタバコガ

東信、南信及び中信地域における収穫期の露地トマトの調査ほ場等で、オオタバコガの果実への食入被害がみられた。

フェロモントラップへの誘殺数は、野菜花き試験場（塩尻市宗賀）及び同佐久支場（小諸市）及び農業試験場（須坂市）では第3半旬以降急増したが、全般的には平年より少なかった。

豊丘村の防除適期決定までは8月を通して、誘殺数は平年及び昨年と比べて多くなった。（第2表）。

第2表 各地のフェロモントラップによるオオタバコガ成虫誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
塩尻市（野菜花き試験場）	14	16	40	50	56	27
小諸市（同 佐久支場）	3	8	19	29	27	30
須坂市（農業試験場）	6	6	21	67	37	23
豊丘村（防除適期決定ほ）	35	71	64	74	63	59

#### 9) ヨトウガ

フェロモントラップへの誘殺数は、野菜花き試験場内（塩尻市宗賀）では、8月を通して昨年及び平年に比べて多かった。農業試験場（須坂市）では、平年並であった（第3表）。

第3表 各地のフェロモントラップによるヨトウガ成虫誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
塩尻市（野菜花き試験場）	31	36	21	32	20	22
須坂市（農業試験場）	1	1	1	1	3	3

#### 10) ハスモンヨトウ

フェロモントラップへの誘殺数は、野菜花き試験場内（塩尻市宗賀）では平年及び昨年と比べて多くなったが、農業試験場（須坂市）では平年及び昨年と比べて少なかった（第4表）。

第4表 各地のフェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
塩尻市（野菜花き試験場内）	20	39	53	50	59	37
須坂市（農業試験場）	6	6	28	20	39	27
上田市（地区発生予察ほ）	7	8	6	2	3	4

#### 11) シロイチモジヨトウ

フェロモントラップへの誘殺数は、野菜花き試験場内（塩尻市宗賀）では第3半旬に急増した。長野市（地区発生予察ほ）では、平年並であった（第5表）。

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
塩尻市（野菜花き試験場）	1	6	22	17	7	7
長野市（地区発生予察ほ）	0	1	1	0	1	0

#### 12) アブラムシ類

巡回調査では、南信地域の施設（抑制）栽培きゅうりの一部ほ場で寄生が目立つところがあった他、中信地域のスイカの調査ほ場で寄生がみられた。

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の飛来消長調査では、8月に入って飛来数は減少したが、塩尻市洗馬及び富士見町の地区発生予察ほでは第6半旬に急増した。（第6表）。

第6表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の飛来消長

調査場所	月・半旬					
	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	0	0	0	8	12	6
小諸市山浦（同 佐久支場）	3	4	4	2	11	20
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	9	4	7	11	37	104
富士見町（地区発生予察ほ）	6	8	9	9	80	164
上田市菅平（地区発生予察ほ）	0	1	1	1	1	2
長野市（地区発生予察ほ）	3	4	4	1	1	6

#### 13) ハモグリバエ類

巡回調査では、南信地域のセルリー及び中南信地域のねぎの調査ほ場で寄生がみられた。

#### 14) アザミウマ類

巡回調査では、各地のアスパラガス、南信及び中信地域のねぎの調査ほ場

で発生が目立つところがあった。

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長調査では、上田市では8月第6半旬、富士見町では8月第3半旬以降急増した（第7表）。

第7表 青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長

調査場所	月・半旬	8・1	8・2	8・3	8・4	8・5	8・6
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）		33	16	6	8	9	3
富士見町（地区発生予察ほ）		27	23	54	54	139	198
上田市（地区発生予察ほ）		5	9	9	9	9	48
長野市（地区発生予察ほ）		6	6	6	7	7	32

15) ハダニ類

巡回調査では、東信地域のアスパラガス、中信地域のすいかの一部ほ場で発生が目立つところがあった。